

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会  
大阪市天王寺区東高津町12-10  
大阪市立社会福祉センターB1F  
発行責任者 小泉 いと子  
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623  
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>  
定価 10円



大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

「津久井やまゆり園」事件から2年を迎えて  
理事長 小泉 いと子

いまだに衰えぬ暑さでございますが、皆さま夏バテなどなさってはいらっしゃいませんか。

重度の知的障がい者19人が元職員に殺害された「津久井やまゆり園」の事件から2年を迎えました。

昨年同様、遺影なしの追悼式となり、黒岩祐治知事が「19人のあなたへ」と語りかけ、入倉かおる園長が四季を感じてもらえるものを選び、県に提供され生前の暮らしぶりがスクリーンに映し出されました。

「事件を決して風化させてはいけない」と述べた黒岩知事は、式典の後で「世の中には社会的弱者への差別や偏見がある。氏名を表に出すのにはまだまだ時間がかかる」と話されました。

元職員の植松聖被告は、事件後「意思疎通のとれない障がい者は人間ではない」と繰り返し、「障がい者は不幸を作ることしかできない」とも供述を繰り返していますが、この言葉を見るたびに怒りと悲しみがこみ上げてきます。

障がいのある子を授かり、親である私たちがどれほど、悩み、悲しみ、無我夢中で走り続け、愛しい我が子も一生懸命歩み続け、日々の生活を送っているかけがいのない命だということを、あなたは知っていますか。

この事件の後、私たちに出来る事は何かと考え、障がい者理解を深める啓発活動の取り組みを進めており、各方面よりご依頼を頂いております。

これからも、障がいのある方々が安心して暮らせる共生社会を目指していきたいと思っておりますので、引き続き皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。

なお、大阪市福祉局障がい者施策部長 中島 進様のコメントが大阪市のホームページに掲載されていますのでご紹介いたします。

神奈川県相模原市の障がい者支援施設「津久井やまゆり園」で、多くの障がいのある方々の尊い命が奪われ、また、傷つけられるという痛ましい事件から、今日で2年が経ちました。決してこの事件を風化させないためにも、改めて、私達一人ひとりが、すべての人たちの命の大切さや尊さについて考えなければなりません。

しかしながら、未だに障がいのある方が犠牲になる事件が起こっています。障がいのある家族を長年に渡り自宅で監禁する事件が相次いで発覚し、衰弱死に至る事件もありました。障がい者やその家族が社会から孤立し、周囲も気づくことができなかった事件です。

このような痛ましい事件を二度と起こさないためにも、障がいや障がいのある人を理解し、社会から孤立することなく支え合いながら、共に自分らしく安心して暮らしていける「共生社会」を実現しなければなりません。

また、6月の大阪府北部の地震や7月の西日本を中心に発生した記録的な豪雨では、多くの方々が犠牲になりました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。今回の地震や豪雨による災害で、人命の尊さ、共に支え合うことの大切さについて改めて気づかれた方も多いのではないのでしょうか。

私達一人ひとりが、すべての人たちの命の大切さや尊さについて考え、そして共に支え合う社会は、すべての人が暮らしやすい豊かな社会です。この「共生社会」を実現するためには、多くの方々の犠牲を払った事件や事故、災害を通じて感じたことを、具体的な行動につなげていかなければなりません。

大阪府内で、障がいのある方をはじめ援助や配慮を必要とする方やその家族の方への思いやりのある行動を広める取り組みとして「ヘルプマーク」を配布し